

事務事業名		大船渡市遺族会運営支援事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	0:9: 関連する政策なし			事業期間		予算科目				
	施策名	9:9: 関連する政策なし					会計	款	項	目	事業
	基本事業名	9:9: 不明									
根拠法令					☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 不明 年度～) ☐ 期間限定複数年度 [計画期間] 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入						
所属	部課名	生活福祉部保健福祉課									
	係名	児童家庭係	電話内線	27-3111 183							
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							全体計画 (※期間限定複数年度のみ)				
①事務事業の内容 任意団体である大船渡市遺族会の事務局業務を行う。 ②業務の内容 主に各種慰霊行事の参加者の取りまとめや、団体の経理事務、会議資料の作成等を行う。 ③事業費の内容 事業費はなし。 ④その他 団体の活動としては、遺族を対象とした各種慰霊行事への参加、会独自の参拝行事であるお籠り参拝の実施、政治活動、選挙運動等がある。							総投入量 (千円)	事業費 内訳	国庫支出金		
									都道府県支出金		
									地方債		
									その他		
									一般財源		
									事業費計 (A)	0	
人件費	正規職員従事人数										
	延べ業務時間										
	人件費計 (B)	0									
	トータルコスト(A)+(B)	0									

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段 (主な活動)	⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
	名称	単位
前年度実績 (前年度に行った主な活動)	ア 各種会議等開催回数	回
今年度計画 (今年度に計画している主な活動)	イ	
	ウ	
② 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
	名称	単位
遺族会会員	カ 遺族会会員数	人
③ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)	キ	
	ク	
④ 結果 (基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)	⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	
	名称	単位
大船渡市遺族会の事業を円滑に実施する。	サ 監査指摘事項	件
	シ	
	ス	

(2) 総事業費・指標等の推移				年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
			一般財源	千 円						
			事業費計 (A)	千 円	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時 間	360	360	360	360	360	360	
		人件費計 (B)	千 円	1,440	1,440	1,440	1,440	1,440	1,440	
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	1,440	1,440	1,440	1,440	1,440	1,440	
⑤活動指標			ア	回	4	4	4	4	4	4
			イ							
			ウ							
⑥対象指標			カ	人	956	956	956	855	835	835
			キ							
			ク							
⑦成果指標			サ	件	0	0	0	0	0	0
			シ							
			ス							

事務事業ID	0167	事務事業名	大船渡市遺族会運営支援事業
--------	------	-------	---------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

平成7年度当時、県内の遺族会組織全体で、市町村への遺族会事務移管の動きがあり、当市においても大船渡市遺族会から市への事務局移管の要望を受けた。一時は移管を受けない方向での検討もなされたようだが、他市町村の殆どが事務局移管を受けるに至ったことから、最終的に事務局移管を受け入れることとなり、市援護担当課(当時:福祉事務所)に事務局を置くこととなった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

戦後60年が過ぎ、遺族も高齢化している。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

特になし。

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☒ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 結びついている ⇒ [理由] 意図することは、上位施策のどの項目にも該当しない。
	② 公共関与の妥当性	☒ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 妥当である ⇒ [理由] 団体の活動内容は、各種慰霊行事に参加し、戦没者を慰霊すること、独自で研修等を実施し、会員の親睦を深めることが主な目的となっている。今後、市として税金を投入して行うべき事業かどうかを改めて検証する必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由] ・遺族会の会員は戦争の犠牲となった方の遺族に限定されており、対象を拡大させる余地はない。 ・団体の事務局業務のため、意図の拡充余地はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒ [理由] 事務局業務として成果を向上させる余地は少ない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒ [その内容] 団体は、①民間に委託する。②自主運営する。③団体を解散し、各地区単位(旧町単位)の活動とする。といった選択を迫られることとなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ①民間に委託する。②自主運営する。③団体を解散し、各地区単位(旧町単位)の活動とする。 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒ [理由]
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由] 市としての負担(支出)が伴わないため、事業費はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒ [理由] ①民間に委託する。②自主運営する。③団体を解散し、各地区単位(旧町単位)の活動とする。といった方法が考えられる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☒ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 公平・公正である ⇒ [理由] 事業は会費のみで運営されているが、事務局職員の人件費360時間分は一般財源であり、自主運営している他の任意団体との公平性に欠ける。

事務事業ID	0167	事務事業名	大船渡市遺族会運営支援事業
--------	------	-------	---------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	④ 公平性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 遺族会だけが市の支援を受けて活動するのは、他の類似団体(黄菊会、英霊にこたえる会、傷痍軍人会など)が自主運営していることを考えると、公平性に欠ける面がある。また、県内市町村のうち市が事務局を持っている遺族会は13市中、4市であり、見直しの余地があるものの、遺族会との調整が必要であることから、現時点では現状維持とする。									
① 目的妥当性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
④ 公平性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 遺族会の存在意義と社会情勢を照らし合わせ、当面は現状維持とするが、将来的には市で行っている事務局業務を見直す必要がある。 ①民間に委託する。②遺族会で自主運営する。③団体を解散し、各地区単位(旧町単位)の活動とする。といった方法が考えられる。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 遺族会が市の支援を受けて活動するのは、他の類似団体(黄菊会、英霊にこたえる会、傷痍軍人会など)が自主運営していることを考えると公平性に欠け、納税者の理解が得られない。また、政治活動や選挙運動を行う団体の事務局業務を行うのは、例えば活動自体に参画しなくとも、住民からは団体と市が同一視されることが懸念され、職員のサービスの取り扱い等においても難しい面がある。したがって、団体事務局の移管を含めて行政改革推進委員会等でさらに検討したうえ、将来的には事業を廃止すべきと考える。																							

(職 名) ※原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	保健福祉課長
-------	--------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
- ☐ 記述不足でわかりにくい
☐ 一部記述不足のところがある
☒ 記述は十分なされている
- ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)
- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない)
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- | | | |
|---------|--|----------------------------------|
| ① 目的妥当性 | ☒ 適切 | ☐ 見直し余地あり |
| ② 有効性 | ☒ 適切 | ☐ 見直し余地あり |
| ③ 効率性 | ☒ 適切 | ☐ 見直し余地あり |
| ④ 公平性 | ☒ 適切 | ☐ 見直し余地あり |

(3) 評価結果の根拠と理由

適切な事務執行がなされている。

(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持
 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)

(上記方向性に対する具体的な内容)

遺族会に関連する事務局機能であり、今後も、高齢化している遺族の支援策として継続する必要がある。

(5) 改革・改善による期待成果

左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。
 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		●	×
	低下		×	×

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項